電波新聞　2020年1月22日付

計測器　20年の戦略

各社トップに聞く

エヌエフ回路設計ブロック

高橋　常夫　会長グループCEO

本業コアの地続きで事業変革

新規市場・事業を創出

高橋　会長

エヌエフ回路設計ブロックは、電子計測制御、電源システム、電子デバイス、応用システムの4事業を一層強化することにより、新規市場・新規事業を創出する。

グループ企業として千代田エレクトロニクス、計測技研、NFテクノコマース、NFカストマサービス、NFデバイステクノロジー、NFエンジニアリングを擁する。

高橋常夫会長グループCEOは「グループ事業を横断的に再編し、グループ各社の営業・生産・開発が連携して、グループのコア技術から地続きでの新規事業への取り組みを強化している。20年はグループの共創をさらに推し進めるとともに、4事業それぞれの成長性のある分野で事業を伸ばしたい」と方針を示す。

計測技研を中心にグループとして、自動車市場のトレンドであるCASEに対する計測制御や、HILS関連需要への応用開発を進める。NF回路の微小信号・インピーダンス測定技術を応用して、ライフサイエンスをはじめとする先端科学技術研究分野にも取り組むなど「グループ共創」の成果が表れ始めている。

4事業の中で電源システム事業では、蓄電システムやインバータ事業が成長している。家庭用蓄電システムの高まるニーズに対応するため、昨年12月に新グループ会社のNFブロッサムテクノロジーズを設立。2月には同システムを共同開発している伊藤忠商事との合弁事業を開始する。同蓄電システムはNFのIoTプラットフォームを活用し、蓄電池のAI充放電制御を行う。

インバータ事業では、蓄電システム以外にもVPP、モビリティ関連など各種産業分野での需要を見込む。

電子計測制御事業では、業界最速の0・5㍉秒/㌽を実現したインピーダンスアナライザZA57630を市場に投入した。電子部品・半導体デバイスや材料・素材の特性評価などの市場を深耕する。また、AE（アコースティック・エミッション）計測に機械学習を活用し、構造物や製造設備の劣化監視などの需要を開拓する。

電子デバイスは航空宇宙向けで実績を伸ばしているが、量子コンピュータなど先端科学技術分野において、組込みモジュール化による高付加価値・特殊用途での事業成長にも取り組んでいく。